

原発性肺がん・転移性肺腫瘍に対して胸腔鏡下で手術経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター呼吸器外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報・画像検査結果・病理結果）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

胸腔鏡下手術における原発性肺癌・転移性肺腫瘍に対する、術中の触知・認識についての検討

【研究の背景】

原発性肺がんや転移性肺腫瘍の手術において、肺部分切除を行うことがあります。多くの場合は胸腔鏡手術を行っておりますが、実際は、病変の局在や大きさにより、術中に病変の触知・特定ができず、手術創部の切開の拡大や手術時間の延長が必要となることがあります。術前の CT 画像では、手術可能と判断されていたとしても、実際には手術困難であった症例があります。術前の段階で胸腔鏡手術が可能であるかの明確な基準があることが望ましいと考えられます。

【目的】

胸腔鏡下にて肺の部分切除を行った原発性肺がんおよび、転移性肺腫瘍の患者さんのカルテを調査し、胸腔鏡下肺部分切除時に、術前の CT 所見により、病変の特定が出来るかの可否について検討する。

【対象となる方】

2019年4月1日～2022年3月31日の間に呼吸器外科にて原発性肺がん・転移性肺腫瘍に対して受診し、胸腔鏡下手術を受けた方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、CT（画像検査結果）、手術記録、病理結果、癌の進行度(ステージ)、
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は 2022 年 6 月の当院臨床研究倫理審査委員会承認日から 2023 年 12 月 31 日まで実施され、150 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、カルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

研究結果がそろった段階で、学会での発表や論文の投稿を行う予定です。その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 呼吸器外科 松村輔二（教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 呼吸器外科 担当者：有本齊仁（学内助教）
埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-940-1633（医局直通）
月曜日～金曜日 9：00-17：00

以上